

ミニトマトの花にどんな虫が来るか観察し、受粉との関係を考えよう

期間目安	1週間	費用目安	低
研究タイプ	観察	対象学年	中学生（1人〜グループOK）

1. この研究のねらい

ミニトマトの花にどんな虫がどれくらいの頻度で訪れるかを、時間帯を変えながら1週間観察し、受粉との関係を考察します。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- 気温が高い時間帯の方が虫の訪問が多いのではないか
- 晴れの日の方が虫の活動が活発なのではないか

ポイント：予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- 開花中の株
- タイマー
- カメラ
- 記録シート

4. 進め方（1週間プラン）

1日目	観察方法（時間・場所）を決めて記録を始める
2〜6日目	朝・昼・夕方など時間帯を変えて観察する
7日目	結果をまとめて時間帯ごとの傾向をグラフ化する

5. 記録シートの例

日付	時間帯	訪れた虫の種類・数	天気

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- 虫を驚かせないように静かに観察する
- 同じ時間帯で複数回観察すると精度が上がる

7. まとめ方・考察のポイント

- 受粉と虫の活動時間の関係をまとめる
- 実のつき方との関連を考察できればさらに良い

8. レポートの構成例

- 表紙：研究テーマ、氏名、学年、日付
- 研究の目的・きっかけ：なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
- 仮説：実験・調査前に立てた予想
- 準備したもの・方法：使った道具・材料、実験や調査の手順
- 結果：記録表、写真、グラフなど
- 考察：結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測

- 7. **まとめ・感想**：研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと
- 8. **参考にした資料**：本やウェブサイトなど（あれば）